

## 永久の平和を誓い 洞爺地区戦没者追悼式

7月24日、洞爺湖洞爺地区戦没者追悼式が、遺族や関係者など約50人が参列し、忠魂碑前で行われました。

式典では、長崎良夫町長が「戦没者の皆さんが永遠に安らかに鎮まり、我がふるさと洞爺湖町にご加護を賜りますよう祈念申し上げます」と式辞を述べました。また遺族を代表して鈴木孝洞爺湖町遺族会洞爺地区代表が「再び悲しみの歴史を繰返さない決意を新たにし、明るい郷土を築いていくことをお誓いいたします」と追悼の辞を述べました。



菊の花をささげる遺族

最後に参列者が菊の花を忠魂碑にささげ戦没者の冥福を祈りました。

## 親子で朝食の大切さ学ぶ 朝食4品にチャレンジ

朝食の大切さを親子で学んでもらおうと、洞爺湖町食生活改善推進員協議会・三浦敦子代表が主催して「親子料理教室」が7月22日健康福祉センターさわやかで開かれ、親子20人が朝食作りにチャレンジしました。

調理実習では、ボランティアグループ「パンジー」のみなさんの指導の下、「おにぎり」「オムレツ」「みそ汁」「フルーツヨーグルト」の4品の料理に取り組みました。

「ぎこちない手付きながら、子ども達は、何とか料理を完成し、



仲良し調理する親子

最後に、ちよつと変わった形のおにぎりなど自分たちで作った料理に満足そつでした。

# まちのわたり

## 「ふるさと・ふれあい・フレンドリーツアー」 財田町小学生来町

7月28日、「ふるさと・ふれあい・フレンドリーツアー」が洞爺湖町を訪れました。

このツアーは、旧洞爺村と姉妹町村を結んでいた旧財田町（現在合併して三豊市）とで、毎年小学生交流を続けてきたものです。今回は、28日から31日までの3泊4日の日程で滞在し、その間地元子ども達といっしょに、カヌーや、遊覧船に乗ったり、西山火口を散策したりと多くの体験を通し、交流を深めました。



いも掘り体験を楽しむ

## 土作りから収量アップを 面白みのある農業をめざして

農業振興と技術の向上を目的に、農業技術研修会（主催 洞爺湖町・とうや湖クリーン農業協議会・J Aとうや湖）が、7月25日町の農業研修センターアグリ館とれたで約60人が参加して開かれました。

講演では、講師の AML 農業経営研究所取締役社長の武田健氏が、土作りと作物の収量の関係を数値を示して説明。収量アップには土作りが欠かせないことを強調し、面白みのある農業を行ってほしいと訴えました。講師の具体的な話にも、多くの



真剣に講演を聞く参加者

参加者はひとつ一つうなづきながら、聞いていました。